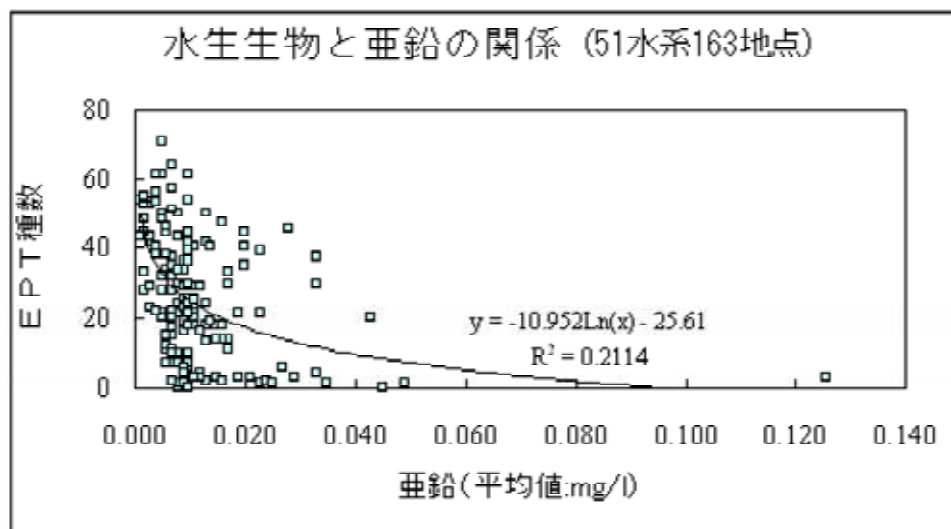
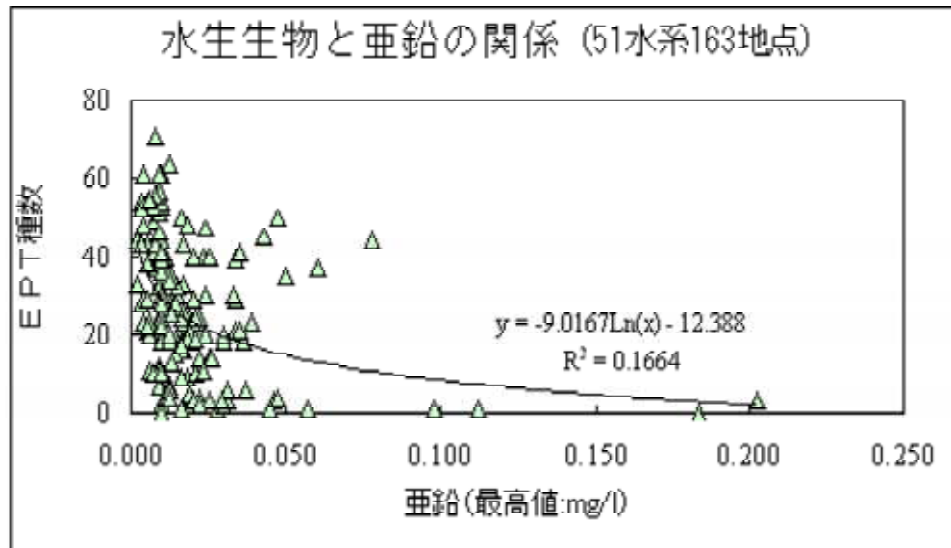


水生生物と亜鉛濃度の関係 (国土交通省河川局河川環境課作成)



EPTについて

E(Ephemeroptera)カゲロウ目(蜻蛉目)、P(Plecoptera)カワゲラ目(セキ翅目)、T(Trichoptera)トビケラ目(毛翅目)の頭文字をとった略称。ここでは、カゲロウ目、カワゲラ目、トビケラ目に属する生物種の合計数を"EPT"としている。

カゲロウ目、カワゲラ目、トビケラ目は清浄な水域に生息する底生生物であり、水質的にきれいな水域ではこれらの種数が多い。逆に、水質の悪化により種数が少なくなりやすいため、水質汚染の指標として使われることが多い。ただし底質に礫が少ない場合には、水質的に清浄であっても種類数が極端に少なくなる場合もあり、指標として評価する場合には場の環境に留意する必要がある。

(環境省水環境部作成)

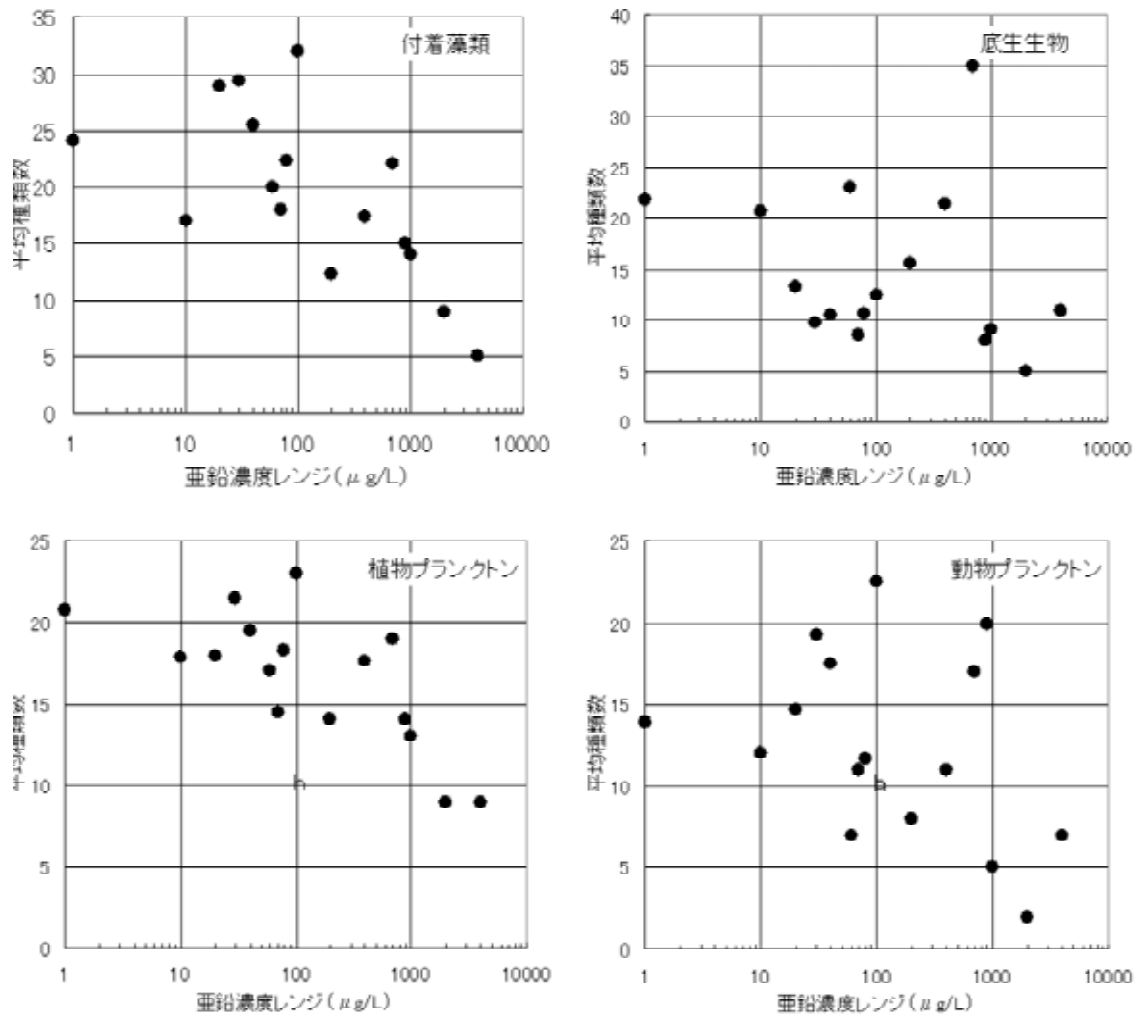


図 1 亜鉛濃度レンジ別平均種類数

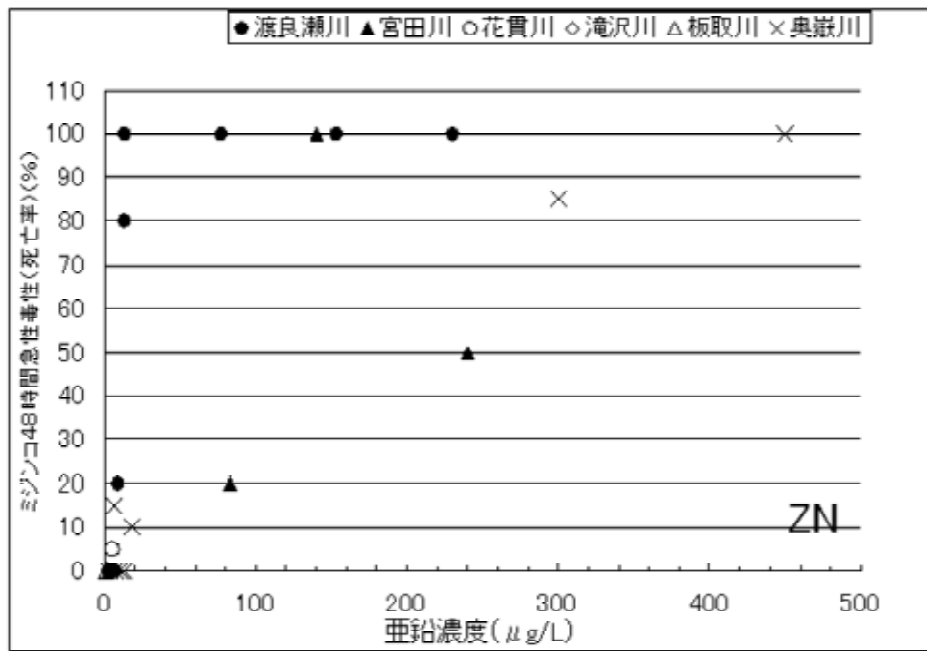


図2 亜鉛濃度とミジンコの死亡率との関係